

富山県水墨美術館コレクション

# 水墨画を 楽しむ7の とびら

—富岡鉄斎、竹内栖鳳、  
横山大観から加山又造へ

約2.5m×5m超!

加山又造の  
超大作《牡丹》

関東で18年  
ぶりに公開!

2026 4.25 sat >>> 6.21 sun

■開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで） ■休館日：月曜日および5月7日（木） ※5月4日（月・祝）は開館 ※会期中、一部展示替えを行います（前期：4月25日～5月24日、後期：5月26日～6月21日） ■入場料：一般1,240（1,130）円／満70歳以上620（560）円／高校生980（820）円／小中生550（420）円 ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※障害者手帳等をご持参の方は無料 ※4月25日（土）は満70歳以上の方は無料 ※土曜日は高校生以下無料 ※茨城県立の美術館（近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館）主催の展覧会で1年間に何回でもご利用いただける共通年間パスポート（一般3,550円／高校生2,370円／小中生1,180円）を各美術館にて販売中 ■主催：茨城県近代美術館 ■特別協力：富山県水墨美術館 ■後援：水戸市／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞つくば支局／日本経済新聞社水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／LuckyFM茨城放送 ■協賛：株式会社常陽銀行

茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1 TEL 029-243-5111 FAX 029-243-9992

常陽銀行

# 富山県水墨美術館コレクション 水墨画を 楽しむ7つのとびら

## 7つの「とびら」とおした 新しい鑑賞体験

水墨画の魅力を身近に感じていただけるよう、鑑賞の手がかりとなる7つの「とびら」をご用意しました。

1. 五感でイメージーションをひらく
2. 文字と絵のコラボレーション
3. 余白・切り取りの美学を考える
4. 背景を読み解く
5. デテールを探す
6. あなたは一体だれですか？
7. 筆の痕跡に注目

これらの「とびら」を開けることで、水墨画との距離がぐっと近づくことでしょ。



横山大観《瀑布四題》1909年

白と黒を基調とする色彩のなかに、無限の広がりを見せる水墨画の世界。墨の表現は驚くほど豊かで多彩でありながら、その深さや広がりには十分に知られてはいけません。本展では、富山県水墨美術館が誇るコレクションから、幕末から現代に至る名だたる画家たちによる約70点を厳選し、水墨表現の奥深い魅力に光を当てます。

## 巨匠たちが紡ぐ、水墨の系譜

最後の文人画家と称される富岡鉄斎(1836-1924)、近代日本画の礎を築いた東西の両巨頭・横山大観(1868-1958)と竹内栖鳳(1864-1942)、そして戦後日本画を革新した加山又造(1927-2004)。時代を代表する画家たちの作品をとおして、水墨表現の変遷と画家たちの創意あふれる試みをご覧ください。



竹内栖鳳《鳥図屏風》1899年頃



川端龍子《寒雷》1962年頃



高山辰雄《郷》1998年

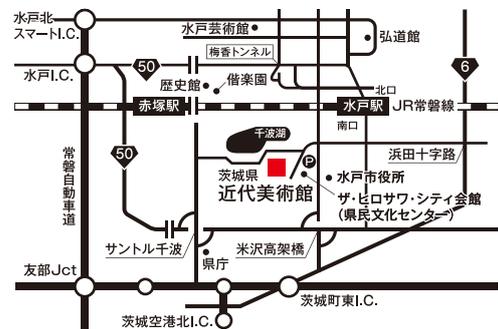


加山又造《牡丹》1979年

掲載作品は全て富山県水墨美術館所蔵

## 現代作家による「作り手」の視点を楽しむ

墨と和紙を用いて制作する現代作家・園家誠二(1960-)が茨城県近代美術館のコレクションからセレクトした2点と、園家作品、インタビューパネルを併せて展示。7つの「とびら」の+αとして、「作り手」の眼差しをとおしてモノクローム表現の魅力を改めて見つめるひとときをお楽しみください。



### 交通のご案内

電車：JR東京駅-水戸駅(特急列車で約1時間15分)。水戸駅南口から徒歩約20分。北口⑧番または南口②番(平日限定)バス乗り場からバス約5分「文化センター入口」にて下車。  
 高速バス：JR東京駅八重洲南口バスターミナルから水戸駅まで約2時間。  
 乗用車：常磐自動車道、水戸ICから約25分。水戸北スマートICから約20分。北関東自動車道、茨城町東ICから約15分。  
 駐車場：ザ・ヒロサワ・シティ会館前の有料駐車場(Times)をご利用の方は、当館総合受付で駐車料金が無料となるサービス券をお受け取りの上、精算してください。

## 茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1  
 TEL 029-243-5111 FAX 029-243-9992



関連イベント

### ●クロストーク

「みるひと×つくるひと—水墨表現の過去・現在・未来」  
 講師：鳥尾 新氏(美術史家)、園家誠二氏(本展出品作家)  
 日時：5月16日(土) 14:00~15:30  
 会場：地階講堂  
 定員：250名(申込不要、参加無料、要企画展チケット)

### ●学芸員による鑑賞講座

講師：高田紫帆(本展担当学芸員)  
 日時：5月30日(土) 14:00~15:30  
 会場：地階講堂/定員：250名(申込不要、参加無料)

※各イベントは、内容が変更または中止になる場合があります。  
 ご来館の際は、当館HPで確認いただくか、当館までお問い合わせください。

### ●令和8年度美術館アカデミー

「漢文詩で読み解く水墨画の世界」  
 講師：李 満紅氏(りまんほん 茨城大学教育学野講師)  
 日時：6月7日(日) 14:00~15:30  
 会場：地階講堂/定員：250名(申込不要、参加無料)

### ●学芸員によるギャラリー・トーク

講師：高田紫帆(本展担当学芸員)  
 日時：4月26日(日) 14:00~15:00  
 会場：2階企画展示室  
 定員：なし(申込不要、要企画展チケット)



「関影商事コレクション 斎藤清のハリ そして日本」4月26日(日)~7月12日(日)  
 茨城県天心記念五浦美術館 TEL0293-46-5311  
 「吉田璋也のデザイン—新作家藝運動がめざした未来」3月14日(土)~6月21日(日)  
 茨城県陶芸美術館 TEL0296-70-0011  
 「97歳セツの新聞ちぎり絵 原画展」4月18日(土)~7月20日(月・祝)  
 笠間日動美術館 TEL0296-72-2160  
 「飯川雄大 大事なことは何かを見つけたとき」2月28日(土)~5月6日(水・振)  
 水戸芸術館 現代美術ギャラリー TEL029-227-8111